

利用環境

お申込み前に必ずご確認ください



貴校の環境でPスタディをご利用できるか、公式サイトでご確認ください。また、お使いの機材でPスタディが動作するか確認できる「動作環境チェックツール」もご用意しております。

Pスタディ 動作環境



https://p-series.benesse.ne.jp/study/system_check.html

動作環境チェックツール

■ 動作環境チェックツール

Pプラス、Pスタディの動作環境のチェックを行います。
チェックを行う場合、「チェック開始」ボタンをクリックしてください。

チェック開始



(ICTプロフィシエンシー検定試験)

貴校の環境でP検を受検できるか、お申込み前にご確認ください。また、お使いの機材でP検が受検できるか確認できる「デモ試験画面」もご用意しております。



※P検とPスタディでは一部動作環境が異なります。
Pスタディとセットでの採択を検討される場合は、
必ず両方の利用環境をご確認ください。

以下のURLを直接検索ください。

https://p-series.benesse.ne.jp/pken/system_check

商品について詳しくはこちらから



WEB

ベネッセ Pシリーズ



<https://p-series.benesse.ne.jp>



2次元コードからもアクセス可能です▶

商品のお申込みはこちらから

ハイスクールオンライン



<https://bhso.benesse.ne.jp>

※Benesse High School Onlineのご利用には学校ID・ログインコードまたは先生個人ID・パスワードが必要です。先生個人IDは、Benesse High School Online内の「先生・生徒ID管理」から発番いただけます。

商品に関するお問い合わせは、お電話でも受け付けております。



電話

株式会社ベネッセコーポレーション お客様サービスセンター

0120-350455

通話料無料

受付時間 (祝日・年末年始を除く)

月～金 8:00～18:00

土

8:00～17:00

※ここで掲載している内容、機能、仕様やデザインについては予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

弊社教材・サービスにおける個人情報の利用目的・取り扱い

各採択校にお申し込みいただいた弊社教材・サービスの利用に際して、ご提供いただく生徒様の個人情報は、当該教材および付随サービス提供の目的で利用します。その情報を必要に応じて弊社が提供する他のサービスの情報と併せて、弊社の学習・進路・進学・就職支援のための教材・情報提供サービス等の基礎資料・データとして利用します。また、当該情報を分析し統計化した情報は、商品・サービスに係る研究開発を目的として、ベネッセグループ会社または関連会社、教育・研究機関やその他提携する法人等に、情報の取り扱いに関する契約を交わしたうえで提供することがあります。なお、弊社は提供先が情報の分析・解析のために、情報を加工・変更することがあります。個人情報は学校様および生徒様の意思に基づきご提供いただきますが、不足がある場合は弊社からの商品・サービスの提供が行えないことがありますので、あらかじめご了承ください。成績推移データの提供や、毎年の入試結果の総括を行い次年度の入試動向を予測する統計データ等作成のために、提供いただいた情報を一定期間保管いたしますが、その情報の取り扱いにつきましては必要かつ適切な措置を講じて万全の配慮を行います。弊社は、個人情報の取り扱いを、第三者に業務委託することがありますが、その場合には委託契約を交わしたうえで、適切な管理をいたします。このような業務委託および、法令の定めによる場合を除き、ご提供いただいた個人情報を、事前的同意なく第三者に提供することは一切ありません。
株式会社ベネッセコーポレーションCPO(個人情報保護最高責任者)

(お問い合わせ先)

個人情報の取り扱いおよび管理についてのお問い合わせは、全国の先生方からのテスト・教材等のお問い合わせ窓口であるお客様サービスセンターにて、承ります。

0120-350455 (通話料無料) 受付時間/月～金8:00～18:00 土8:00～17:00 (祝日、年末・年始を除く)

〒700-8686岡山県岡山市北区南方3-7-17

なお、弊社の個人情報保護方針につきましては、<https://www.benesse.co.jp/privacy/>に掲載しております。

データ取り扱いへの取り組み

データ集計等のシステムにおいては万全の機密性を確保し、厳重な管理のもとに取り扱っております。

■プライバシーマーク付与事業者として活動しています。(2016年取得後、継続更新中)



プライバシーマーク制度は、個人情報の取り扱いを適切に行っている事業者を、第三者機関である(財)日本情報経済社会推進協会(JIPDEC)及びその指定機関が評価・認定し、その証としてプライバシーマークロゴの使用を許諾する制度です。

■ISMS 取得事業所でのデータ集計を行っています。

ISMSとは、企業・組織の情報システムの機密性、完全性、可用性が確保され維持されているかどうかを確認する規格です。

情報 対応教材 & 検定

のご案内

【2025年度版】



2025年7月リニューアル!

未来を創る 情報活用力



ICTプロフィシエンシー検定試験



今の「情報」の学びを 将来の“やりたい”をかなえる力に。

急速なデジタル化やAIの進展で、私たちを取り巻く環境が大きく変わりつつある今。
この新しい時代において、生徒が社会で活躍できるように、
「デジタル・情報活用力」の育成から測定までを
ベネッセがサポートさせていただきます。

「デジタル・情報活用力」とは

「さまざまな人と豊かで安全なコミュニケーションがとれ、新しいイノベーションを起こしたり、社会や個人の課題を解決したりして、社会の仕組みを変えていくための力」と定義しています。

商品名の「P」の由来

各商品の頭につくPはプロフィシエンシー(Proficiency)から来ており、知識や技能を現実の状況に応じて発揮する能力のことを指しています。また、ロゴのPがやや横長なのはPを旗に見立てているからであり、生徒にこれからの世界の旗振り役になってほしいという願いを込めています。

「デジタル・情報活用力」の育成から測定まで丸ごとサポートいたします！

育成

オンライン教材



価格：990円(税込)/人
範囲：情報I

※価格は、申込時～年度末までのご利用料金です。

P4~P7で詳しくご紹介

「情報I」の理解から、社会で役立つ
プログラミング・Webサイト制作の練習までできる！

用途

- 「情報I」の授業の補助教材として
- 生徒の自学自習教材として(日々の予習・復習教材として)
- P検の対策教材として

まずはお気軽にPスタディをお試しください！

教材をご採択いただく前に、先生のパソコンでPスタディを無料でお試しいただけます。右記2次元コード、もしくは下記URLから、「お試しID」をお申し込みください。

<https://p-series.benesse.ne.jp/sample/>



測定

検定試験

未来を創る「情報活用力」



価格：2,500円(税込)/人
(標準検定料:2,700円(税込)/人)
レベル：スタンダード

P8~P13で詳しくご紹介

DXリテラシー標準に対応した情報活用力が測定でき、
合格した場合は入試や就職でアピールできる！

用途

- 入試や就職でアピールできる力の証明として
- 「情報I」やPスタディの学習の到達度の確認として

2025年P検リニューアル！

従来の「ICTを活用した問題解決力を測る」というコンセプトを継承しながらも、学びを現代社会で求められているデジタルスキルによりつなげられるように、「情報I」をベースに、DXリテラシー標準に対応した情報活用力を測定する検定へとリニューアルします。詳しくはP8をご覧ください。



特長



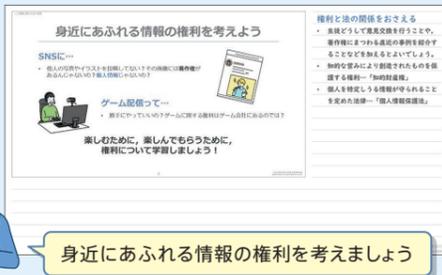
先生の授業補助として活用できます！

「情報」の授業の実施をサポートするコンテンツが満載。
授業での解説から、授業中のワーク、生徒の評価まで完結させられます。

単元：「情報に関する法や制度」の場合

POINT 1 授業スライドは準備済み

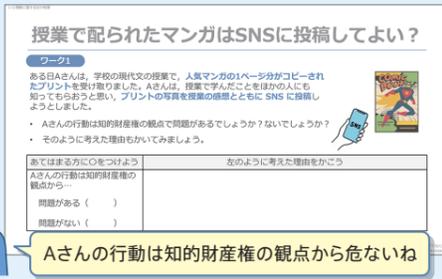
スライドを教材にして授業を進めていきます。
全単元に授業ガイドが付属しているので、
押さえるべきポイントを外さずに指導ができます。



身近にあふれる情報の権利を考えよう

POINT 2 授業中のワークも準備済み

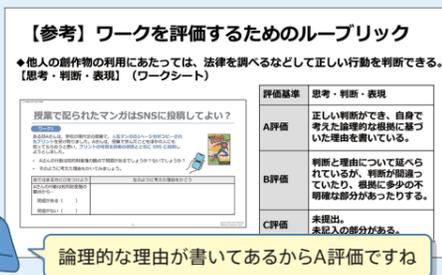
解説した内容をもとに、ワークに取り組みます。
インプットだけでなくアウトプットも行うことで、
理解がより深められます。



Aさんの行動は知的財産権の観点から危ないね

POINT 3 評価もしやすい

生徒が書いたワークシートや振り返りシートを評価します。
授業ガイド内に評価基準が掲載されているので、
A評価・B評価・C評価を判断する際の参考にできます。



論理的な理由が書いてあるからA評価ですね

まずは

お気軽にPスタディをお試しください！

教材をご採択いただく前に、先生のパソコンでPスタディを無料でお試しください。
右記2次元コード、もしくは下記URLから、「お試しID」をお申し込みください。
<https://p-series.benesse.ne.jp/study/sample/>



Pスタディは長期休暇の課題にも最適！



生徒一人でも学びを進められます！

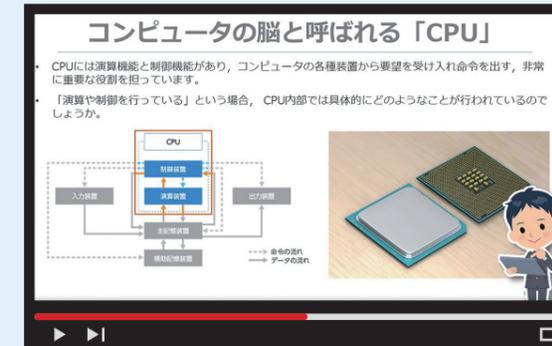
学習内容に応じて、要点をわかりやすくまとめた動画や会話形式の教材をご用意。
生徒一人でも単元の要点を押さえたり、プログラミングの実習をしたりできます。

単元：「コンピュータの仕組み」の場合

動画でポイントが押さえられる

単元の内容を一通り学習できる講義動画で
授業内容の予習・復習ができます。

1本
5~10分



CPUが処理できるデータ量は
ビットの単位で表しましたよね。

単元：「プログラミング」の場合

会話形式の授業で考え方を理解できる

会話形式の説明を読みながら、ブラウザ内でコードの記述・実行することで、
プログラミングの考え方・ルールを覚えられます。



※会話形式の授業はPython、JavaScriptに対応。VBAはExcelを利用する学習教材をご用意しております。

未来を創る 情報活用力



ICTプロフィシエンシー検定試験

(詳細は本紙P8~13)

Pスタディでの学習後は、 P検で学びの成果を確認してみませんか？

Pスタディ取り組み後にP検を受検いただくことで、生徒の学びの成果を可視化できます。
P検に合格した場合は、生徒の自己肯定感の向上や、入試や就職における個性のアピール
につなげられます。

PスタディはP検対策コンテンツも充実

- ▶ 模擬試験3回分※1
- ▶ 用語集
- ▶ 解説動画※2

※1) 模擬試験3回分は、P検公式サイトでも無料で公開予定です。
※2) P検範囲に対応したPスタディの動画で学習することができます。
※教材の名称や構成は変わることがあります。

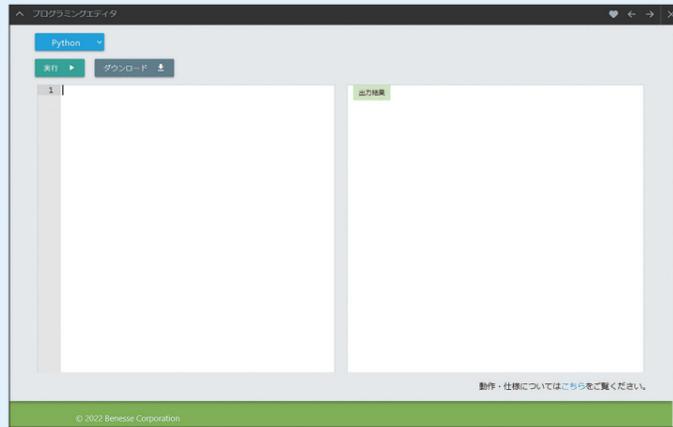


実習環境



プログラミングエディタページで自由な記述が可能です。

通常のプログラミング演習に加えて、先生がご用意された問題や教科書の問題など、Pスタディ以外のプログラムの実行がWeb上で簡単に行えます。また、書いたコードはダウンロードして保存が可能なので、授業をまたいだ演習も可能です。



Python・JavaScript対応

コードはテキストデータとしてダウンロード・保存が可能

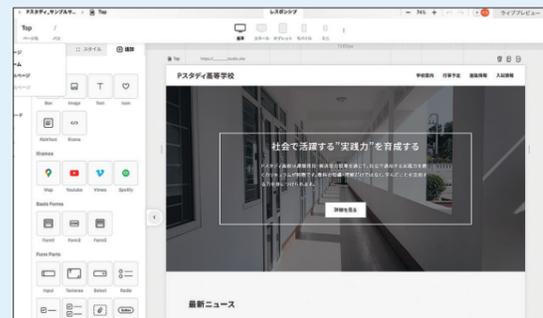


Webサイト制作環境で生徒の「楽しい!」を引き出せます。

ノーコードWeb制作プラットフォームの「Studio」と連携しています! HTMLやCSSを使わないことで、情報デザインの本質である「課題解決のために相手に伝わるデザインをつくる」ことに時間をかけた実習を実現できます。

Studio

Pスタディ採択校の特典としてメールアドレスの登録なしでの利用が可能です!



<https://studio.design/ja>

活用事例

ノーコードツールの活用で、時数不足解消と想像力の育成を実現

—プログラミングと情報デザインの融合—



東京都立墨田川高等学校
市川淳尉 先生



https://p-series.benesse.ne.jp/study/pdf/2023_Pstudy_tokyo.pdf

カリキュラム

授業で活用いただく場合のカリキュラムの例です。発展コンテンツや付録もあるので、進度に合わせたカリキュラム設計が可能です。自学自習用として活用される場合は、1単元15分を目安とし、活用計画を組んでお使いいただけます。

1学期 17単元+3コンテンツ (オリエンテーション・発展)

月	章	項目	月	章	項目
4	オリエンテーション	情報Iを学ぶ意義	5	2.コミュニケーションと情報デザイン	動画のデジタル化
4	1.情報社会の問題解決	情報やメディアの特性	6		データの圧縮
4		問題の発見・解決・振り返りと改善	6		コミュニケーション手段の特徴
4		情報に関する法や制度	6		情報デザインとは
4		情報セキュリティの重要性	6		情報の表現手法(1)
5	2.コミュニケーションと情報デザイン	デジタルデータの表現(2進法)	6		情報の表現手法(2)
5		デジタルデータの表現(16進法)	7		コンテンツ制作の過程
5		文字のデジタル化	7		問題解決のための手法
5		音のデジタル化	発展		コンテンツ制作(ペルソナ手法)
5		画像のデジタル化	発展		コンテンツ制作(プロトタイプ)

2学期 18単元+2コンテンツ (発展) ※Pythonの例

月	章	項目	月	章	項目
9	3.コンピュータとプログラミング	コンピュータの仕組み	11	3.コンピュータとプログラミング	アルゴリズムの比較
9		コンピュータの基本構成	11		モデル化とシミュレーション
9		演算の仕組みやコンピュータの限界	11		確定モデルと確率モデル
9		プログラミングを学ぶ意義	発展	感染症のシミュレーション	
9		Pythonとは?	11	4.情報通信 ネットワークとデータの活用	身近にあるネットワーク
10		基本的なプログラム(1)	11		インターネットを支える技術
10		基本的なプログラム(2)	12		LANの構築ができるようになるろう
10		応用的なプログラム(1)	12		情報セキュリティ(認証技術)
10		応用的なプログラム(2)	12		情報セキュリティ(暗号化)
10		関数の利用			
発展	WebAPIについて				

プログラミングは、JavaScriptやVBAでも学習できます。

3学期 7単元+4コンテンツ (発展)

月	章	項目
1	4.情報通信 ネットワークとデータの活用	データベースとは
発展		いろいろなデータベース
発展		データベースの正規化
発展		テーブルの作成、データの更新
発展		統計データを作成・取得しよう
2		情報システムとそのサービス(1)
2		情報システムとそのサービス(2)
2		文字データの分析の基礎を学ぼう(1)
2		文字データの分析の基礎を学ぼう(2)
3		数値データの分析の基礎を学ぼう(1)
3		数値データの分析の基礎を学ぼう(2)

紹介のコンテンツ以外に付録コンテンツも充実。進度に合わせて活用いただけます。

- PCって自分で作れるの?!
- タイピング練習
- Webページ制作
- リモートセンシングとGoogle Earth Engine
- Microsoft Officeの使い方
- Google Workspace for Educationの使い方
- STEAM探求コンテンツ「テクノロジーを通じた災害の課題解決」
- 大阪大学 情報社会基礎・情報科学基礎公開教材サイト

STEAM探求コンテンツ「テクノロジーを通じた災害の課題解決」



特長



2025年 P検リニューアル!

P検(正式名称:ICTプロフィエンスー検定試験)は、社会・世界が求める「ICTを活用した問題解決力」の検定試験として、2012年4月に前身の「パソコン検定試験」から名称を改める形でスタート。現在でも非常に多くの大学入試で活用されている検定です。しかし、社会の急速なデジタル化やAIの進展で、私たちを取り巻く環境が大きく変わりつつある今。この新しい時代において、生徒の学びを今の社会で求められているデジタルスキルによりつなげられるように、P検は「情報I」をベースに、DXリテラシー標準に対応した情報活用力を測定する検定へとリニューアルいたします。

P検にまつわるデータ



リニューアルされたP検の入試活用情報については、2025年秋頃にP検公式サイトで公開予定です。今しばらくお待ちください。

2025年3月末で終了



2025年7月開始



DXリテラシー標準とは?

「働き手一人ひとりがDXに参画し、その成果を仕事や生活で役立てるうえで必要となるマインド・スタンスや知識・スキルを示す、学びの指針」として経済産業省によって策定されました。詳しくは、経済産業省Webサイトをご覧ください。

【引用】デジタルスキル標準 経済産業省
https://www.meti.go.jp/policy/it_policy/jinzai/skill_standard/main.html

(2024年10月28日参照)

出題領域・レベル



3領域の力をバランスよく測定できます。

「情報I」をベースに、DXリテラシー標準に対応した情報活用力を測定する検定として、以下3つの領域からバランスよく出題し、それぞれの力を測定します。

出題領域	測定する力
情報社会	情報社会で活躍するために必要となる、法や制度といった基本的な知識が身についているかを測ります。また、問題解決のための手法や情報社会の変化などについて問います。
デジタル技術	デジタルデータや情報機器の仕組みが理解できており、デジタル技術を活用して問題解決ができるかどうかを測ります。また、プログラミングやシミュレーションの考え方について問います。
データサイエンス	データベースの仕組みについて理解しており、適切にデータを扱えるかを問います。また、目的に応じてデータを活用する力(収集・分析・表現など)を測ります。

※タイピング・ワープロ(Word)・表計算(Excel)・プレゼンテーション(PowerPoint)といった実技科目は、リニューアルに伴い出題範囲ではなくなります。あらかじめご了承ください。

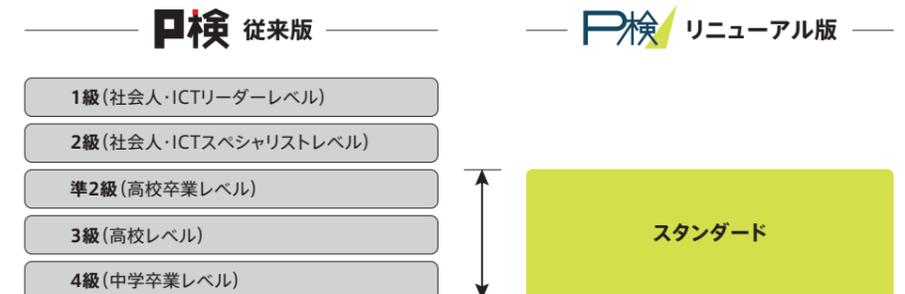


レベルは「スタンダード」1レベルです。

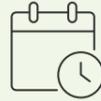
出題内容は「情報I」をベースにしており、「高校卒業程度」の「情報I」の内容が理解できている状態を合格レベルとしています。日々の学習を検定の合格につなげやすい難易度です。

従来版P検とのレベル比較

「スタンダード」は、従来版のP検の準2級(高校卒業レベル)～4級(中学卒業レベル)に対応しております。



スケジュール/受検結果



2025年度は、年度内2回の実施です。

なお、不合格の場合は各回の期間内で1回のみ無料で再受検が可能。合格をねらいやすい設計です。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
検定				第1回 7/1日(火)～7/31(木)							第2回 2/1日(日)～2/28(土)	
再受検				第1回 再受検 7/1日(火)～8/31(日)							第2回 再受検 2/1日(日)～3/31(火)	

※2025年度のみ、同じ受検者が「第1回」「第2回」の両方を受検することができません。※再受検は、各回の実施期間内での再受検となります。



P検の対策は、ぜひPスタディで！ (詳細は本紙P4.5)

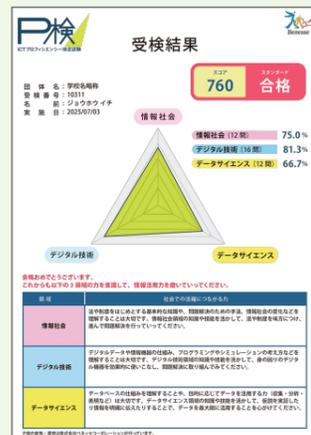
用語集や解説動画といった対策コンテンツが充実。
P検を受検される場合は、Pスタディの活用もご検討ください。



受検結果は受検後すぐにわかります。

受検結果(受検者全員)と合格認定証(合格者のみ)を、受検後すぐにPDF形式でWeb返却。
生徒の強み・弱みが一目でわかります。また、先生向けの団体用の結果も、Webで確認可能です。

受検結果(見本)



合格はスコアで判定。
3領域の力が
一目でわかります。

合格認定証(見本)



合格した場合は、
入試や就職で
アピールできる
証明になります。



ここで掲載していない問題を、
公式サイトにてご覧いただけます。

<https://p-series.benesse.ne.jp/pken/sample>

情報社会

問題発見・解決の方法

ある学校では、生徒会が文化祭のテーマを決めるためにブレインストーミングを行っている。
ブレインストーミングの基本原則として最も適切なものはどれか。

1. ブレインストーミングを進めるのと並行してすべてのアイデアを評価する。
2. 他人のアイデアを否定しない。(正解)
3. どんなアイデアでも時間をかけていねいに議論する。
4. リーダーがすべてのアイデアを決定する。

問いのポイント

生徒に身近な場面を取り上げて、ブレインストーミングの基本原則を正しく理解できているかを問うている。

情報技術がもたらす社会の変化

ある病院では、遠隔医療(いりょう)システムを利用して専門医の診察を提供している。このシステムにより、離島(りとう)の住民も都市部と同じレベルの医療サービスを受けられるようになった。遠隔医療システムの導入によって解決される問題として、最も適切なものはどれか。

1. 薬剤の供給不足
2. 医療サービスの地域格差(正解)
3. 医療従事者の育成
4. 患者のプライバシー保護

問いのポイント

現実社会の場면을題材に、情報技術の発展による生活への変化を正しく理解できているかを問うている。

※作成中の問題であり、内容は変わることがあります。

デジタル技術

ここで掲載していない問題を、
公式サイトにてご覧いただけます。



<https://p-series.benesse.ne.jp/pken/sample>

■ プログラミング

※P検で出題するプログラミングの問題は、共通テスト用プログラム表記を使用しています。

Bさんはオンライン学習教材で、受講者の学習進捗状況(がくしゅうしんちよくじょうきょう)に応じてメッセージを表示するプログラムを作成することにしました。gakushuは学習進捗状況(0~100%)を示しており、学習進捗状況が、50%未満、50%以上80%未満、80%以上100%未満、100%の場合にそれぞれ異なるメッセージを表示するものとする。

- (1) `gakushu = 80`
- (2) もし `gakushu < 50` ならば:
- (3) | 表示する("遅れています。がんばりましょう!")
- (4) そうでなくもし `ア` ならば:
- (5) | 表示する("順調に進んでいます。")
- (6) そうでなくもし `gakushu < 100` ならば:
- (7) | 表示する("あと少しで完了します。")
- (8) そうでなければ:
- (9) | 表示する("完了しました!")

空欄アにあてはまるものとして正しいものはどれか。

1. `gakushu > 80`
2. `gakushu <= 50 and gakushu > 80`
3. `gakushu < 80` (正解)
4. `gakushu >= 50 or gakushu < 80`

問いのポイント

プログラムの分岐構造について理解し、プログラムの流れに合うように条件を正しく選べるかどうかを問うている。

※作成中の問題であり、内容は変わることがあります。

データサイエンス

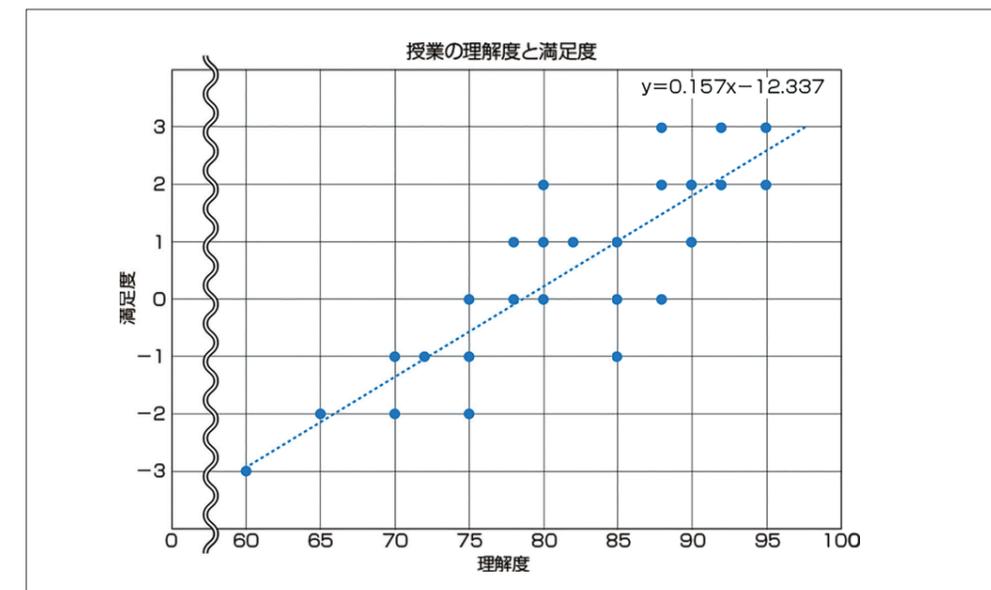
ここで掲載していない問題を、
公式サイトにてご覧いただけます。



<https://p-series.benesse.ne.jp/pken/sample>

■ データの分析

ある高校の生徒30人を対象に、授業の理解度と満足度について調査を実施した。そして、その結果をもとにグラフを作成した。なお、理解度(0~100)と満足度(-3~3)は値が大きいほどそれぞれが高いことを表す。



※一部の生徒を除く

この調査の結果において相関係数が0.87であった。

このことから授業の理解度と満足度の間にある関係として、正しいものはどれか。

1. 授業の理解度と満足度には強い正の相関がある。(正解)
2. 授業の理解度と満足度には強い負の相関がある。
3. 授業の理解度と満足度には弱い正の相関がある。
4. 授業の理解度と満足度には相関がない。

問いのポイント

身のまわりで実際に直面し得る架空の設定において、相関関係の知識を正しく理解しているかを問うている。

※作成中の問題であり、内容は変わることがあります。

よくある質問とその答え



その他の質問とその答えについては、こちらをご覧ください
<https://p-series.benesse.ne.jp/study/faq.html>



Q Pスタディを3年間利用することは可能でしょうか？

A 年度ごとにお申込みいただければ可能です。

ご契約は年度末を区切りとしております。3年間継続してご利用されたい場合は、年度のはじめに都度お申込みください。
 (参考: 3年間ご利用された場合のご料金: 990円×3年間=2,970円(税込/生徒1人あたり))

Q プログラミング言語は何を取り扱っているのでしょうか？

A Python、JavaScript、VBAの3種類の言語に対応しております。

ただし、本誌P6でご紹介しておりますプログラミングエディタについては、Python、JavaScriptのみの対応となり、VBAはExcelを用いた学習をすることを前提としております。



その他の質問とその答えについては、こちらをご覧ください
<https://p-series.benesse.ne.jp/pken/faq>



Q P検に合格するとどんなメリットがありますか？

A 大学入試の出願書類や就職時の履歴書・エントリーシート等でアピールにつながります。

P検の出題内容は「情報Ⅰ」をベースにしていますので、「高校卒業程度」の「情報Ⅰ」の内容が理解できていることを公的に証明することができます。なお、リニューアルされたP検の入試活用情報については、2025年秋頃、P検公式サイトで公開予定です。

Q スタンドの他にレベルはないのでしょうか？

A リニューアル後のP検はスタンダードの1レベルのみになります。

スタンダードよりも難しい、あるいは易しいレベルは現時点でご用意はしておりません。現行のP検で多くの高校生のみなまにご活用いただいているレベルが準2級~4級であったため、まずはこちらのレベルをご用意させていただいております。

Q P検はどのように対策すればいいのでしょうか？

A Pスタディで対策いただけます。

Pスタディでは「情報Ⅰ」の内容について学習できるほか、P検対策コンテンツをご用意しております。ぜひセットでの採択をご検討ください。

※詳しくは本紙P4.5をご覧ください

Q タイピングはもう練習できないのでしょうか？

A 「マナビジョン」にて無料で練習いただけます。

P検のリニューアルに伴い、タイピングはP検の試験範囲から外れることになりました。しかしながら、ベネッセでは「マナビジョン」にて無料のタイピング教材を公開中です。ぜひ日々の学習にお役立てください。

マナビジョン タイピング



<https://manabi.benesse.ne.jp/gakushu/typing/>

2025年度概要



価格(税込)	990円/人 ※申込時~年度末までのご利用料金
範囲	情報Ⅰ
対象者	高校1年生~3年生
申込み開始	2025年2月3日(月)
使用可能期間	2025年度内は自由に活用可能 ※通信障害、メンテナンス等でご利用できない時間・日が発生する可能性があります。 ※受講データは5年間保管されます。利用終了後、再度ご採択により過去データが引継ぎされます。
生徒ログインID	Pスタディ・Pプラス専用ID(P-ID)もしくはベネッセのID(SASSI-ID)
実施場所	学校・ご家庭など、インターネットに接続できる環境 ※パソコン等の機材のご提供はありません。



(ICTプロフィエンスー検定試験)

主催者	株式会社ベネッセコーポレーション
実施会場	貴校 ※学校とりまとめでの実施のみ。個人での受検はできません。
日程	●第1回: 2025年7月1日(火)~7月31日(木) 第1回再受検期間: 2025年7月1日(火)~8月31日(日) ●第2回: 2026年2月1日(日)~2月28日(土) 第2回再受検期間: 2026年2月1日(日)~3月31日(火) ※2025年度のみ、同じ受検者が「第1回」「第2回」の両方を受検することができません。 ※再受検は、各回の実施期間内での再受検となります。
申込み開始	2025年4月7日(月)
対象者	高校1年生~3年生
測定する力	「情報Ⅰ」をベースに、DXリテラシー標準に対応した情報活用力
出題領域	① 情報社会 ② デジタル技術 ③ データサイエンス ※タイピング・Word・Excelといった実技はなし
出題形式	IBT(選択式問題ほか) ※検定は、株式会社シー・ビー・ティソリューションズの出題システムを利用して実施します。 ※IBTとはInternet Based Testingの略称で、インターネットを経由してパソコン・タブレットで実施します。
レベル/解答時間	スタンダード / 45分
合格基準	スコアで設定 ※合格基準の詳細は2025年度以降にご案内予定。
検定料(税込)	ご請求額: 2,500円(標準検定料: 2,700円)
生徒ログインID	ベネッセのID(SASSI-ID)
受検結果(受検者用)	受検結果(受検者全員)と合格認定証(合格者のみ)を、受検直後にPDF形式でWeb返却
団体結果(先生用)	Webで確認可能
対策教材	Pスタディ 990円(税込)/人 ※申込時~年度末までのご利用料金 ※ただし、模擬演習3回分をP検公式サイトで無料公開予定。